

東京リコーダー教育研究会

第 51 回リコーダーコンテスト、フェスティバル参加団体対象の特別企画

リコーダーのこと 何でも話そう！トークイベント を開催します

過日、東京リコーダー教育研究会（Tokyo Recorder Seminar＝略称 TRS 以下、本会）が主催いたしました、第 51 回リコーダーコンテスト（以下、コンテスト）は、新型コロナウイルス感染拡大が心配される中、皆様方のご協力により無事終演いたしました。あらためまして、心より御礼申し上げます。

既報の通り今回のコンテストでは、特別企画として当日の演奏を撮影し、本会 YouTube チャンネルにて限定公開を行う予定です。公開されましたら、ご視聴をいただければ幸いです。

さて、現在限定公開しております「第 51 回リコーダーコンテスト 審査員座談会・講評」のうち、座談会では、他にも多くの貴重な対談が繰り広げられました。その中で、審査員の皆様から、「講評用紙では限られた時間、文字数でしか伝えられない。」「コンテストの出場を機に、今後、一般愛好家や学校教育において、リコーダー活動をさらに盛んにしてほしい。そのために、皆さんの悩みを共有し、アドバイス出来る場があるとよいのでは。」など、とてもありがたいお言葉を頂戴しました。これは本会規約第 3 条「本会はリコーダーの演奏と指導に関する研究を推進し、リコーダー音楽の普及発展のために、リコーダーに関する作品の開発や、国内外の演奏家及び研究家の交流・親睦を図ることを目的とする」とも一致することであります。そこでこの度、本会主催による表題のイベントを企画いたしました。

コンテストやフェスティバルへの出場を通して感じたことや疑問点、また日頃の活動や練習に関する悩みを、審査員の先生方からのアドバイスはもちろん、他団体のイベント参加者との意見交換などを通じて、少しでも皆様のお役に立つ機会となれば幸いです。

参加団体各位には本イベントの趣旨をご理解のうえ、ご参加いただきますようお願いいたします。詳細につきましては、下記の通りです。

東京リコーダー教育研究会
会 長 富 山 和 幸

- 1 ねらい
 - (1) コンテストおよびフェスティバル出場を機に、各団体及び相互のリコーダー活動への意欲を高め、リコーダー活動全般の気運向上の契機とする。
 - (2) 国内外の演奏家及び研究家の交流・親睦を図る。
- 2 日時
令和5年2月19日(日) 受付19:30～、イベント開始19:45～(21:00終了予定)
- 3 内容
事前に参加者から質問内容を募集し、ゲスト(審査員)より回答及びアドバイスをいただく。当日の参加者からの意見も募集し、広い視野での課題解決につなげる。
- 4 ゲスト
コンテスト審査員
- 5 実施形式
オンラインミーティングツール Zoomを使用したオンライン形式
- 6 参加方法
別紙チラシにある二次元コードから誘導されるアンケートフォームにて申し込む。その際、ゲストや参加者に質問したいことを書き込む。質問をとりまとめ、事前にゲストへ共有し、当日回答いただく。
- 7 参加対象者
第51回リコーダーコンテスト、フェスティバルの出演者限定となります。
- 8 参加募集について
質問のある方は本日より2月11日(土)までに、アンケートフォームにてお申し込みください。その後も開始直前まで随時申込み受付をおこないますが、質問への回答は出来ない可能性がありますことを予めご了承ください。
なお、参加者が未成年である場合、保護者に意向を確認してからご参加ください。
- 9 その他
参加費は無料となります。オンラインに係る通信費は、参加者負担とします。

本件に関するお問い合わせ先
東京リコーダー教育研究会
mail@tokyorecorderseminar.com